

まちづくりの“これまで”と“これから”

大田区は2021年に「下丸子駅周辺地区まちづくり構想(案)」を策定し、
現在は「(仮称)下丸子駅周辺地区グランドデザイン」の策定に向けて進行中。
ここではこれまでのまちづくりのあゆみを時系列でご紹介。今後も取り組みは続いていきます！

2021

2021年3月

「下丸子駅周辺地区まちづくり構想(案)」策定

下丸子駅周辺地区の20年後の将来像と、その実現に向けたまちの在り方を示すため、「下丸子駅周辺地区まちづくり構想」の素案をまとめました。

はじまりは
ここから！

2021年10月～

下丸子駅周辺地区の まちの将来を考える会(勉強会)

2021年10月から2023年3月にかけて計8回の勉強会を実施。商店街や自治会・町会、工和会協同組合、おおたクリエイティブタウンセンター、下丸子に立地する民間企業などの地区関係者をメンバーに、地域の資源や課題、駅周辺や地区全体の将来の姿について意見交換を行いました。

地域が主体
となって定期的
に開催！



2022

2023年1月

区民説明会

2023年1月13日(金)・14日(土)の2日間にわたり大田区民プラザで区民説明会を開催しました。構想の策定から概要について動画で説明を行ったあとは、参加者による質疑応答を実施。オープンハウス型説明会と合わせて、58名の方が参加しました。

2023

2023年1月

オープンハウス型説明会

2023年1月14日(土)に行われた区民説明会の会場では、オープンハウス型説明会も開催。今後のまちづくりの方針や概要をまとめた説明パネル等を展示し、参加者の質問等に対して担当者が説明を行いました。

2023年1～2月

パブリックコメントを募集

「下丸子駅周辺地区まちづくり構想(案)」について区民の意見を募集するため、2023年1月13日(金)～2月2日(木)の期間、パブリックコメントを募集。計画や交通状況、住民の参加などの項目に対して、42名から102件の意見が寄せられました。挙げられた意見とそれに対する区の回答は、大田区ホームページ「大田区:『下丸子駅周辺地区まちづくり構想(素案)』に対するパブリックコメントの実施結果について」で公開しています。

区民の意見を
集めました

【パブリックコメントの例】

- 下丸子らしさ、多摩川線沿線らしさを大切にほしい
- 20年後までにまちづくりはほんとうに完了するの？
- ガス橋通りの踏切(下丸子2号踏切)は交通量も多く解消したほうが良い
- 企業と住民のつながりができる施設があってもいいのでは？
- オンラインの活用など、多様な世代が参加しやすい機会を

2023年3月

「下丸子駅周辺地区 まちづくり構想」策定

下丸子駅周辺地区の2040年頃の将来像とその実現に向けたまちづくりの方針をとりまとめた「下丸子駅周辺地区まちづくり構想」を策定しました。地区関係者と共有し、今後まちづくりを推進していくための指針となります(P.8参照)。

まちづくり
の指針を大田区
HPで公開中！



2023年12月

下丸子まちづくり座談会

下丸子のまちづくりを考えるきっかけづくりの一環として、2023年12月16日(土)に公開座談会を開催。三部で構成され、第一部ではさまざまな分野で活躍するゲストスピーカーによる地区内外のまちづくり事例を紹介。第二部では野原卓さんがおおたクリエイティブタウンセンターのこれまでの取り組み等を紹介し、第三部ではゲストスピーカーと野原さん5名による座談会を行いました(P.4参照)。



2024年2月～

下丸子駅周辺地区グランドデザイン策定 に向けたまちづくり検討会

2024年2月17日(土)に第1回「下丸子駅周辺地区グランドデザイン策定に向けたまちづくり検討会(以下、検討会)」を矢口特別出張所大会議室で行いました。まちづくり構想で掲げる下丸子駅周辺地区のまちづくりコンセプトの実現に向け、行政と地域の関係者が連携し、より具体的な取り組みを示すため、地区関係者や公募により参加した区民の方などに検討会の趣旨や役割、進め方などについてレクチャーを実施。さらに、ワークショップ形式のグループディスカッションで意見交換を行いました。検討会は令和7年度まで実施する予定です。

将来像の実現に
向けた会議が
いよいよ
キックオフ！



2024

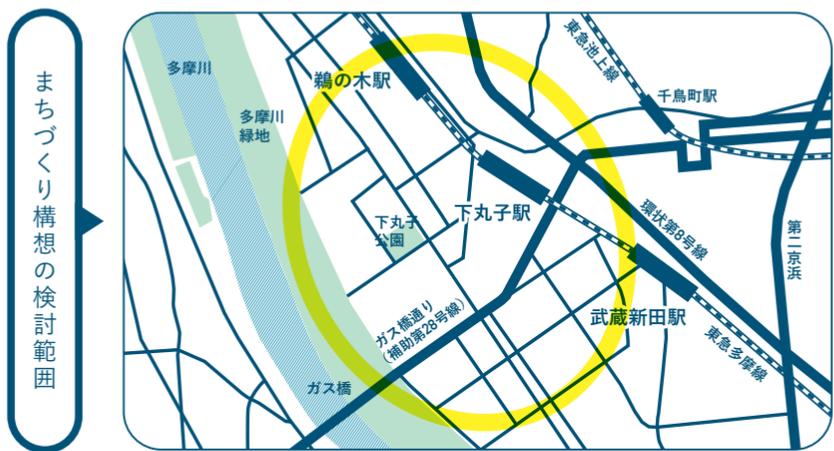
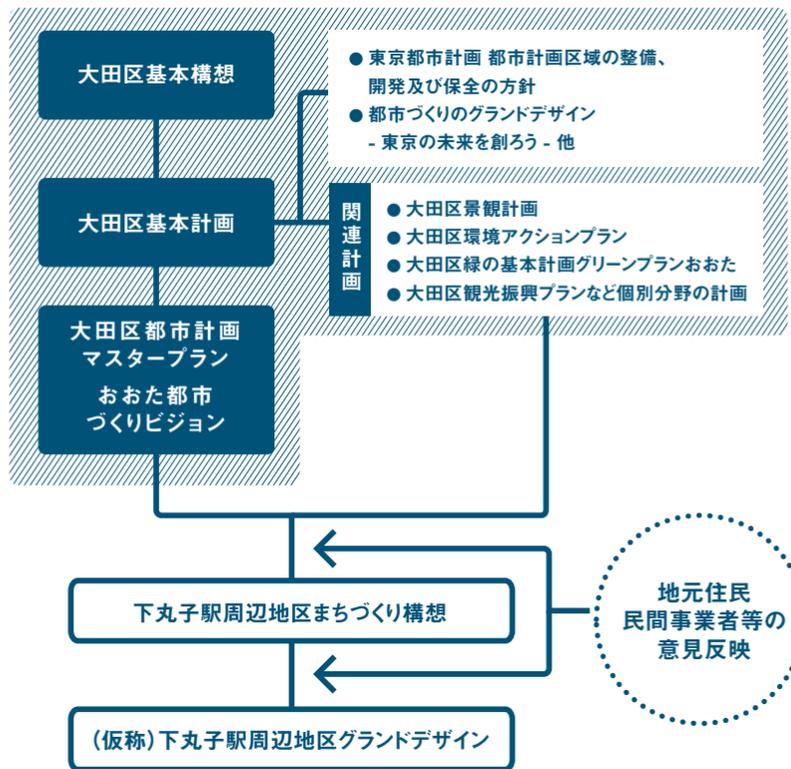
2040年に向けたまちづくりが進行中！

『下丸子駅周辺地区まちづくり構想』とは？

「下丸子駅周辺地区まちづくり構想」は、概ね20年後(2040年)の将来像とその実現に向けたまちづくりの方針を、上位関連計画や地区の関係者との意見交換等を踏まえとりまとめたものであり、地区の関係者と共有しながらまちづくりを推進するための指針となるものです。

今後、地元(住民や企業)や鉄道事業者などの関係者にまちづくり検討会等を通じて意見をうかがいながら、まちづくりコンセプトの実現に向けた、より具体的な取り組みを位置付ける「(仮称)下丸子駅周辺地区グランドデザイン」の策定を行います。

[まちづくり構想の位置付け]



まちづくりコンセプトと 目指すまちの姿

空港につながり、職・住・憩い・にぎわいが集まるまち ～新たな価値を生み出すまち・クリエイティブタウン～

上位計画の「大田区都市計画マスタープラン」における当地区が求められる役割、また、地区の強み・弱み、社会動向など、勉強会で出た意見等を踏まえ、下丸子駅周辺地区の「まちづくりコンセプト」を設定しました。さらに、実現に向けた取り組みの方針として、4つの「目指すまちの姿」を定めています。

1 居心地が良く歩きたくなる ウォークラブルなまち

- ① 居心地が良く歩きたくなる街路空間
- ② 鉄道南北を超えたまち全体の一体性向上
- ③ 自由な移動を支える柔軟性のある移動ネットワークの形成
- ④ 豊かな活動の場としての公共空間創出
- ⑤ 地域資源や地域らしさを活かした場づくり



(上)モビリティ・ハブのイメージ (出典)国土交通省(下)駅前の広場空間のイメージ

2 多様な交流からイノベーションや 産業がはぐくまれるまち

- ① 交流から生まれる新たな創造・技術を生み出す場の創出
- ② 多様な交流の場の創出
- ③ 魅力のある商店街づくり
- ④ チャレンジの場と受け皿の設置による産業の活性化
- ⑤ 豊かなくらしと産業をはぐくむ活動の創出と発信



(上)チャレンジの場のイメージ (下)個性や魅力のある商店街のイメージ

3 豊かなくらしを実現する 活動・場が充実したまち

- ① 地域のくらしを支えるサービスの充実
- ② 地域の交流拠点や交流の場の創出
- ③ 自然・歴史・文化等の地域資源を活かした景観づくり
- ④ 災害時に対応する安全・安心のまちづくり



(上)やすらぎと個性のある空間のイメージ(下)駅前広場と一体的な交流拠点のイメージ

4 地域・企業とともにつくり・つかう 「共創」のまち

- ① エリアプラットフォームの形成による様々な主体が集う機会の創出
- ② 実証実験・検証を通じた魅力的な場や活動の実現
- ③ 幅広い情報発信による新たな理解者・ファンなどの創出



エリアプラットフォームの取り組みイメージ

